

- 当社は、環境への配慮から行っているウイスキーの熟成時に大気上に蒸散されるアルコール分の回収をAR装置からスクラバー機器へ更新します。
- これにより、CO2排出量を減少させ付加価値の創出と環境への負荷低減を図ります。

<富士御殿場蒸溜所>



1. 事業適応計画の実施期間

2023年5月～2023年12月

2. 環境への負荷の低減に関する目標

富士御殿場蒸溜所の炭素生産性を36.1%向上させることを目標とします。

3. 前向きな取組みの内容

環境への配慮から行っている熟成中のウイスキー樽から蒸散されるアルコール分の回収を、蒸気と電力を使用する現在のAR装置から電力のみで稼働するスクラバー装置へ更新し、炭素生産性の向上を図ります。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<熟成庫>

